

会議録

会議の名称	令和2年度清須市健康づくり推進協議会
開催日時	令和2年11月18日(水) 午後2時～午後3時30分
開催場所	清須市清洲総合福祉センター 2階 第1会議室
議題	<p>1. あいさつ 2. 委員の紹介 3. 協議</p> <p>(1) 健康日本21清須計画(第2次)・清須市自殺対策計画の推進 (2) 清須市保健事業 (3) その他</p>
会議資料	<p>会議次第 令和2年度清須市健康づくり推進協議会名簿 資料1 健康づくり推進協議会設置要綱 資料2 健康日本21清須計画(第2次)・清須市自殺対策計画の推進の概要 資料3 健康づくりをみんなで考える会及び実務者会議の報告 資料4 令和2年度新型コロナ対策関係の保健事業 資料5 ①～③清須市保健事業</p>
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	0人
出席委員	鬼頭委員、加藤委員、宮田委員、時田委員、山内委員、伊澤委員、西谷委員、佐橋委員、山中委員、入山委員、波多野委員、土屋委員、片山委員、小出委員、子安委員
欠席委員	なし
事務局	<p>河口健康福祉部長 〔健康推進課〕寺社下課長、坂下課長補佐兼母子保健係長、舟橋課長補佐兼健康増進係長、三島成人保健係長、葛谷主任主査 〔高齢福祉課〕幸村課長補佐兼介護予防係長</p>
会議の経過	<p>《要旨》</p> <p>1. あいさつ 2. 委員の紹介 3. 協議</p> <p>(1) 健康日本21清須計画(第2次)・清須市自殺対策計画の推進、健康づくりをみんなで考える会及び実務者会議の報告(資料2・3) (2) 清須市保健事業(資料4・5) (3) その他</p> <p>鬼頭会長：ただいま事務局から健康日本21清須計画(第2次)と清須市自殺対策計画の概要、啓発方法、保健事業等について説明がありました。ご質問やご意見がありましたらお願いします。 (質問・意見なし)</p> <p>鬼頭会長：薬剤師がおして様々なサポートをされている薬剤師の実績からご発言いただけませんか。</p>

宮田委員：今年の3月からマスク等の入手が困難だったが最近は少しずつ落ち着いてきているように感じます。

加藤委員：大阪市長がイソジンについて報道したその後、店舗からイソジンが消えました。自分の病院では、別もので対応しました。

今年から集団検診胸部レントゲンの検診は個別で対応しました。報告書は一定になったのかお伺いしたい。結果やフィードバックの仕方等についてはいかがでしょうか。

事務局：裏面に記載がある用紙で統一してお渡しします。

鬼頭会長：子育てや子どもたちの健康をサポートして見える経験からご発言いただけませんか。

波多野委員：母子保健推進員をする中で思うところをお話しさせていただきます。全体としての印象としては特に困ったことはありませんでした。コロナ禍のため、昨年と異なる活動を行いました。お母さま方はコロナに対しても過敏になりながらも、妊娠・出産をして大変立派だったと思います。家族・地域の力があれば赤ちゃんを育てていくことができると思います。自分自身の活動は訪問が主で、家庭訪問で赤ちゃんを抱っこさせてもらったりしています。今年は書類をポストに投函する等少し活動に影響が出てきているものの、家庭訪問先では、ぜひまた来てくださいと言われる方が多いように感じています。この活動ができることに幸せを感じております。

鬼頭会長：企業で衛生管理のお立場で従業員の健康づくり等、ご発言いただけませんか。

土屋委員：メディセオで従業者の健康管理に取り組んでおります。現在、従業者は630名程度おります。今年の健診については開催について結構悩みました。まだすべての方を終えていませんが、グループを多くつくり健診会場が密にならないように行っています。私生活や日常環境について、ストレスチェックを行っています。業者に入ってもらい、指導・面談の対応を行っております。3年前より、マインドフルネス（瞑想）を取り入れております。脳の休息を行うことで、仕事の効率を図ることを目的としております。軽くストレッチし、5分くらい目をつむるという時間を設けています。今年はコロナのためみんなで一緒にという形ではできませんが、健康について情報提供させていただきました。口腔検査については未実施です。

鬼頭会長：商工会や関係機関との連携等お気づきになった点等、ご発言いただけませんか。

佐橋委員：自殺対策についてですが、8年前くらいから自殺者は確実に減少していますが、20歳未満は増えているように思います。20歳以上は8年連続減少しているという報道がありました。小さな子どもや学生が多いのはいじめが関係していると考えられます。清須市はいじめで報道されたことはありませんが、教育委員会を通じて先生方にいじめ等の前ぶれの有無を把握されているかお伺いしたい。

事務局：全世代の自殺率は下がっていますが、20歳代より若い世代の自殺は横ばいだという点は日本全国でも問題になっています。清須市の20歳代より若い世代の自殺は近年では少なく、2009年からの統計では4名でしたが、最近はありません。教育の現場へは、ポスターの掲示等で啓発に努め、小中学校でも、困ったことがあれば相談してください、という内容のチラシ等を配布しております。夏休み明けの自殺は全国的にも多くなる傾向があるということで、夏休み前後は特に自殺防止等のチラシの配布を行っております。先生方もスクールカウンセラーをはじめ、相談体制を整えて学校内でのいじめの有無についてアンケートを行い把握に努めておられます。その内容につきましても、実務者会議というものを開催し、市役所職員との情報共有を行っております。

佐橋委員：子は日本を背負っていく宝ですから、尊い命を大事にしたいと思います。

鬼頭会長：自殺に追い込まれるのは、1年間でみると一つが多いのでしょうか。

子安委員：8月が多いです。10月に警察庁の速報では2,153人の自殺者があったとありました。前年同月比では600人増加となっています。内訳としては約1,300人が男性、約800人が女性で、男性の増加率が約30%に対して女性の増加率は60%以上となっております。20、30歳代の働いて子育てしている世代の多くは、生活苦で自殺されたと発表がありました。3月から5月にコロナの助成金で一時こらえたが8月に増え、10月にさらに増えています。経済をまわしていくことも自殺者を減らすという観点からも必要なことであるように思います。

鬼頭会長：ありがとうございました。

地域で子どもたちの成長を見守って頂いておりますが、子どもたちの生活、心の健康などお気づきになったことがありましたらご発言いただけませんか。

伊澤委員：先週地域の集いということで、江南市でPTAの講習会に参加してきました。

日本福祉大学の野尻さんが講師の講習会でした。近隣では、稻沢市、小牧市が、自殺対策として来年からスクールソーシャルワーカーを市で一人確保するそうです。登校拒否等は家庭の事情も多く、先生でもその部分には深入りできない背景があるようです。他市町では、専門弁護士（スクールロイヤー）を設置し自殺を防いだ事例もあるようですので、清須市でもぜひ検討していただきたいと思います。

コロナ対策としては、PTAとしても先生と一緒に校内の消毒等清掃活動を行っております。中学校では、ある期間は体操服での登校を認めたり、と変化が生じてきています。

鬼頭会長：社会福祉協議会でもいろいろな相談事業を実施して見えると思いますが、健康面や心の支援について発言いただけませんか。

時田委員：社会福祉協議会では手作りマスクを作成し、市内医療機関へ配布させていただきました。コロナの関係で職場が休業となり、仕事が厳しくなった現況を鑑み、緊急貸付事業も行いました。現時点で300件ほどの申し込みを受け付けております。そのほかの活動につきましても、活動場所の工夫等感染防止の観点で検討しながら活動しております。

鬼頭会長：今年はコロナの影響で、食育教室などが中止になっていますが、感じられている健康課題について発言いただけませんか。

山中委員：会員の定例会にて勉強会を行っております。県事業を推進していますが、実習については、今年度は不可能であると考えております。介護食・防災食等、次年度の活動に向けて模索している最中です。私たちの活動は実習が基本ですので、活動内容の試行錯誤を今後もしていきたいと思っています。

鬼頭会長：女性の健康づくりの立場から、健康について発言いただけませんか。

西谷委員：みんなで集まってフェイス・トゥ・フェイスが基本ですが、今年は何もできませんでした。しかし、人とのつながりを断ち切ってはいけないと強く感じております。「めざせ心も体も元気なまち 清須」に向け、免疫力アップ等、寿会にもプリントを配布しました。アンケートを行ったところ、女性の会は70歳代が多いようです。日常生活の状況というと、イライラしていると答えた人は40%で、60%の方がイライラせずに過ごしていると結果が出ました。その要因としては、ポジティブな考え方を持つことであると思います。具体的な予防対策として挙げられたのは、オンラインや手紙、電話等で人とのつながりを積極的にとり、自分を励ましていることでした。また、バランスの良い食事をとることもアンケート

に多く挙げられていました。今後の課題として、人とのつながりについて考えていいきたいと思っております。

鬼頭会長：地域での高齢者の健康づくりについてご発言いただけませんか。

山内委員：3月からコロナ感染の拡大により人数が集まる総会・役員会を自粛し、書面での開催にしました。6月にコロナが少し落ち着いたため、支部の役員会をコロナ対策したうえで開催しました。人数が集まるカラオケ大会、グラウンドゴルフは中止させていただきましたが、50名前後はコロナ対策をしたうえで実施することにしました。支部では囲碁・将棋については自粛を続けていただいています。市内の寿会は4地区あり、各地区で対応しながらいろいろな事業を実施しています。10月21日に西枇杷島地区で37名の方が旅行に参加しました。春日地区では、近場への旅行について計画したところ、81名の申し込みがあり昨日実施しました。食事中はソーシャルディスタンスをとる、カラオケは行わない、バスの座席は一人ずつにする等の対応を行って開催し、会員からは大変好評でした。清洲・新川の地区については、様子を見ながら開催について検討していくようです。

事務局へのお願いですが、資料についてページ番号を記載していただけないでしょうか。

事務局：申し訳ありませんでした。次回からページ番号を入れさせていただきます。

鬼頭会長：地域の健康づくりとして運動教室のご指導をしていただいておりますが、地域の健康づくりなどお気づきのことなど発言いただけませんか。

入山委員：春から教室を3つ持っています。5月に自宅でできる運動を示した資料を50人程度の自宅に届けました。10月から、部屋を2つにする、手指の消毒、マスク着用など工夫して、教室を一部開催しています。最近聞いたところでは、高齢者の方でペットボトルの蓋が開けられないということがありました。握力低下に対する運動を取り入れたいと考えています。昨年度は清須市の出生率が県下1位でしたが、現在はいかがですか。

事務局：平成29年度は出生率県下11.3%で1位、平成30年度は11.0%で2位、令和元年度は10.3%で2位となっています。

山内委員：追加で話させていただきたいです。新川高校との交流事業や6月、11月に市寿会で広報を発行しました。

鬼頭会長：スポーツを推進している立場から、健康について発言いただけませんか。

片山委員：今年度スポーツ推進委員としていろいろな事業を行っていますが、ウォーキング、スポーツなどを行ってはいますが、コロナの状況で体育祭がすべて開催できませんでした。10月中頃、スポーツクラブができるようになり、学校開放も始まりました。消毒、換気等、対策をとりながら実施しているというのが現状です。資料3にあった健康づくりを皆で考える点について、スポーツを通して協力させていただいていると自負しております。

鬼頭会長：子ども会の立場から、健康について発言いただけませんか。

小出委員：清須市子ども会連絡協議会の常任理事をしております。春日地区の子ども会では22年会長を務めさせていただいております。最近子どもたちが思い切り遊んでいる様子が見られないように感じています。ドッジボール大会等、スポーツに関する行事が今年度は開催できておりません。役員で検討し、春日地区で親子ボーリング大会を計画したところ、300人の申し込みがありました。他にはリモートでビンゴゲームも行いました。毎朝の挨拶運動については、子どもたちも静かにしていかなければならないというような雰囲気があり静かに登校していますが、いまひとつ明るさがないような気がしています。子どもたちの元気な姿が一

番良いと思います。

鬼頭会長：清須市の健康計画、自殺対策計画の推進すべき方向性などについて愛知県の立場から、ご助言をお願いします。

子安委員：コロナ対策については、保健所は最先端で行っています。引きこもりや自殺対策については、臨床心理士と保健師で事務に取り組んでおります。コロナ対策につきましては、北名古屋市と清須市から職員を派遣をいただきました。今後もどうか宜しくお願いします。コロナに対する風評被害等の対策もしながら、行政検査やPCR検査等医師会のご協力もお願いしたいと思っております。新聞にもありますが、時速70キロの電車の窓を10秒開放するだけで室内は換気されます。日本ではラッシュアワーで集団感染が起きていません。換気やマスクを徹底していれば、拡散を抑えることができると考えております。医療機関が頑張ってくださっているので死者数が抑えられているということもあると思います。

自殺者については、ピーク時は3万人を超していたところ、だんだん減って2万人ほどになっています。景気が良くなって自殺者が減ったと考えられます。最近の自殺者は、警察庁の発表では10月の1か月で2千人を超える自殺者がいます。自殺者を減少させるには、やはり経済をまわしていくことも重要と考えます。

鬼頭会長：ありがとうございました。

事務局：本日は、長時間にわたりご審議を賜りまして、ありがとうございました。

以上で終了とさせていただきます。

会議の結果	会議の経過に示したとおり
問い合わせ先	健康福祉部 健康推進課 電話 052-400-2911 内線2155

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

署名委員 山中 瞳



署名委員 波多野 真純

